

第21回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

埼玉県母性衛生学会
<http://sbe.umin.jp/>

§ 日 時 平成16年11月19日(金)午後1時30分から

§ 場 所 埼玉県県民健康センター2F大ホール
さいたま市浦和区仲町3-5-1 電話048-824-4801

司 会 古 谷 健 一 幹事

1. 学会長挨拶(13:30) 埼玉県母性衛生学会会長 竹田 省

2. 一般演題(13:32~16:06)

助産師業務・助産師教育(13:32~13:53)
座長 小田切房子(埼玉県立大学短期大学部)

1) 開業助産師の現状調査についての一考察

(社)日本助産師会埼玉県支部助産所部会

阿部淳子、飯島さち子、関根はつみ、櫻井裕子、中島桂子

2) 埼玉県における助産師のあり方に関する基礎的研究 - 県内医療機関における助産師の需要と期待する業務内容の調査 -

埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科¹⁾、東京大学大学院医学系研究科²⁾、
埼玉県立大学短期大学部助産学専攻³⁾

今井充子¹⁾、渡部尚子¹⁾、鈴木幸子¹⁾、村山陵子²⁾、小田切房子³⁾、
行田智子³⁾

3) 助産師学生の妊婦健康診査の演習と実習の技術評価 - 「問診」「全身の観察」
「レオポルド触診法」「胎児心拍数の聴取」「腹囲・子宮底測定」 -

埼玉医科大学短期大学専攻科母子看護学専攻

羽根田公江、榎原洋子、山崎トヨ

母性意識（13：53～14：21）

座長 田島恵子（深谷赤十字病院）

4) 分娩台に入る「母性」のスイッチ

中島産婦人科

中村純子、中島 洋

5) 多胎妊娠への看護者の関わり -児への思いに焦点をあてて-

さいたま市立病院

東野真弓、斎藤亮子

6) 赤ちゃんに優しい病院（BFH）認定に向けて -スタッフの母乳育児に対する意識調査-

越谷市立病院産婦人科

廣瀬尚美

7) 産科病棟における高校生体験学習の意義性について

川口市立医療センター産科病棟（3B病棟）

斎藤有香、河野一美、栗原夕里子、田中友江、栃木武一

妊産婦と看護（14：21～14：56）

座長 上村志津子（防衛医科大学校病院）

8) 近年妊娠のウイルス抗体保有率

愛和病院産婦人科外来

津田美恵子、小澤真由美、関原真紀、条川好男、上里忠司、藤田壽太郎

9) さいたま赤十字病院におけるマタニティビクスの現状 -導入から3年間を振り返って-

さいたま赤十字病院産科病棟

近藤尚子、内升千加、高橋 央、関根千江、佐藤由美子

10) 母体搬送された妊産婦の不安調査とその対応

埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター

松本瑞江、村山真理子、斎藤優子、森本美加、白石道子、松本幸子、
村山敬彦、斎藤正博、馬場一憲、竹田 省

11) 軟骨無形成症の母児発症の一症例 - 障害に視点をあてて -

川口工業総合病院産婦人科病棟

河島桂子、遠藤法子、桜場恵子、小島緒子

12) H I V陽性母と児の看護 - 当院での2症例を通して -

防衛医科大学校病院産科病棟

内藤久美子、小原直美、小谷野マミ、上村志津子、喜多恒和、松田秀雄

産褥・育児・思春期問題(14:56~15:31)

座長 手島幸代(獨協医科大学越谷病院)

13) 母児同室における疲労の原因について - 授乳に焦点をあてて -

戸田中央産院

関根美穂子、野沢香奈、角崎美由紀、鷺谷由紀、山本英子、遠藤知実

14) マタニティブルー - 再入院を余儀なくされた2事例より -

獨協医科大学越谷病院産婦人科病棟

白根智子、里館真理子、手島幸代、大藏健義

15) 予後不良児とその家族へのかかわり - 致死性骨異型成症児の看護を振り返って -

防衛医科大学校病院

内藤章子、熊谷美津江、高橋明美、松本陽子、上村志津子

16) 母親への視線をはずす乳児についての考察 - 3か月健診での事例を通して -

こうぬまクリニック¹⁾、木野産婦人科医院²⁾、小原クリニック³⁾、

慈恵医大柏病院⁴⁾

鈴木仁史¹⁾、嵯峨芳子^{1,2)}、相原由香^{2,3)}、古川はるこ⁴⁾、木野秀郷²⁾

17) 地域で支えるリプロダクティブヘルスに関する研究 - 第1報: 越谷市男女共同参画支援センター(ほっと越谷)からだと性の相談の現状報告 -

埼玉県立大学短期大学部¹⁾、埼玉県立大学²⁾

高田恵子¹⁾、渡部尚子²⁾、鈴木幸子²⁾、今井充子²⁾、兼宗美幸¹⁾、

坂本めぐみ¹⁾、小田切房子¹⁾、及川裕子¹⁾

少子化問題（15：31～16：06）

座長 渡部尚子（埼玉県立大学）

18) 少子化がもたらす子どもたちへの影響 - 心身の成長と発達 -

埼玉大学教育学部附属幼稚園

佐藤大子

19) 少子化と子どもたち - 小学校における変化と対応 -

加須市立加須小学校

栗原静代

20) 少子化と子どもや保護者の変化と対応

両神村立両神中学校

中田富子

21) 今どきの中学生 - 少子化にともなう子供や保護者の変化と対応 -

さいたま市立大原中学校

大内葉子

22) 少子化の中の高校生

川口市立県陽高等学校

本吉和貴子

3. 総会（16：06～16：16）

1) 埼玉県母性衛生学会役員について 小林浩一 幹事

2) 平成15年度埼玉県母性衛生学会収支決算について 小林浩一 幹事

3) 監査報告 佐藤辰之 監事

4) 平成16年度埼玉県母性衛生学会収支予算（案）について 小林浩一 幹事

5) 埼玉県産婦人科医会会长挨拶 柏崎研様

4. シンポジウム（16：16～18：16）

メインテーマ「少子化対策と不妊治療 - 問題点と支援 - 」

座長 石原 理（埼玉医科大学病院）
座長 山田 祐士（かしわざき産婦人科）

1) 埼玉県不妊治療助成事業

埼玉県健康福祉部こども家庭課
課長 岩井一郎

2) 不妊相談事業と不妊治療の現況

埼玉医科大学総合医療センター
産婦人科講師 林 直樹

3) 不妊治療での心のケア

日本不妊カウンセリングカウンセラー
永井クリニック看護副師長 山崎照美

4) 産科の立場から - egg donation、多胎管理の問題 -

川口市立医療センター
産婦人科部長 栢木武一

5) 多胎家族への育児支援、地域支援

さいたま市立病院
周産期センター師長 永澤規子

6) 小児科医の立場から - 不妊治療、未熟児と虐待 -

埼玉県立小児医療センター
未熟児新生児科副部長 鬼本博文

5. 閉会

菊池義公 副会長

一般演題の講演時間は1題につき発表5分、討論2分です（時間厳守のこと）。
スライドプロジェクター、液晶プロジェクター及びパソコンを各1台ご用意いたしますが、ご使用いただく機材はスライド又はパソコンといたします。
一般演題のスライドは1題につき10枚以内（1面映写）でお願いいたします。
産婦人科医師には、日本産科婦人科学会研修受講10単位シール及び日本産婦人科医会研修受講シールを発行します。
学会会員は、参加費及び年会費として、合計2,000円を当日頂戴します。
学会会員以外の方は、学会参加費として、1,000円を当日頂戴します。